

(様式7)

事業所における自己評価結果(公表)

公表年月日:令和 2 年 3 月 31 日

事業所名 放課後等デイサービス マハロ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1		機能訓練室を利用し子どもさんが集中しやすい環境をこれからも整えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	8	1	基準以上の配置を満しています。	適切に支援できる体制づくりをこれからも行っていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	5		振り返る機会が持てない場合がある。PDCAサイクルが浸透するよう業務改善を図っていきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	5		これからもアンケート調査等を活かし業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	4	ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7		外部評価が受けられるような体制づくりを行います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	アセスメントを意識し、利用児や保護者との対話を大切にしています	個別支援計画の内容が職員に周知できていないことがありました。子どもさんに不利益が起きないようにしっかり計画をスタッフに周知し実行していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		活動予定表を作成し実行しています。	買い物ゲーム、調理ゲームなど生活に関わりの深い活動や、洗濯をたたむなど日常動作の獲得になるような活動を提供をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		お子様の状況やご家族の意向も反映した計画書を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	申し送りノートの活用を行っています。	支援前には必ず申し送りをを行い周知を図っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	申し送りノートの活用を行っています。	正規職員は必ず 終礼を行い支援の振り返りや共有を図っています。しかし非常勤職員への情報共有がタイムリーに行われなかったこともあり、情報共有の漏れがないようにしていきます
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	3		口頭で伝えてしまうことがありました。記録の重要性、必要性を周知していきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	3		基本は半年に1度行っていますが、状況によって臨機応変に行っていきます。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	2			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4	担当職員や、児発管が参加できるように配慮している。	会議に出席できない現場スタッフにもサービス利用時の様子などの情報収集を行い会議に参加します。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		随時学校と連携を図っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	3	可能な限り医療機関と連絡を築いています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	6		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	4		情報提供を求められた場合には対応します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	5	協議会委員として参画しています。	これからも協議会からの要請依頼があれば参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1		連絡帳や、送迎時に保護者と子どもさんの様子を随時共有しています。これからもお子様の利益のために努めていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	8		ペアレント・トレーニングは実施していませんが、助言等必要な時は行っていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	契約時に丁寧に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2		これからも事業所でできることは助言を行ったり、保護者と一緒に考えていきたいと思っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9		保護者会は設置していませんが、必要に応じて開催する場合があります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			契約時に苦情受付の説明を行っています。実際に苦情が上がった場合には迅速かつ真摯に対応するよう努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		ホームページや、お便りで情報発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	8	1		守秘義務の理解・徹底をしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			必要な配慮ができるよう努めます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8		地域の方を招待する行事を行っていない。今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		月1回の虐待防止研修および倫理考慮の輪読をしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2		外套のお子様を利用の場合は、契約時に説明し同意を得ていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	年1回健康調査票の作成をしています。	

	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2 事例集は作成していませんが、報告書は回覧し事業所全体で共有しています。	
--	------------------------------	---	---------------------------------------	--